



学校だより

学校の教育目標

- ・思いやりがあり、心の豊かな人になろう
- ・自ら学び、考え、表現できる人になろう
- ・心身ともに進んで鍛え、健康な人になろう

第6号

令和3年10月25日
杉並区立阿佐ヶ谷中学校

「We'll Sing You ～すべての努力はみんなの全力～」

校長 工藤 康男

10月1日（金）に19都道府県に発令されていた緊急事態宣言は解除され、10月13日（水）に令和3年度文化発表会（合唱祭）を実施しました。当日は天候がはっきりしない日でしたが、多くの保護者の方にご来場いただき、誠にありがとうございました。練習期間が緊急事態宣言中であったため、例年通りの十分な練習ができず、課題曲と自由曲から一曲選び、コンクール形式ではない合唱祭を実施しました。練習中から校舎内に生徒たちの歌声が響き渡り、本校に来校された方々からも「素晴らしい歌声ですね。合唱祭は行うことができるのですね」などのご意見をいただきました。また、昨年度とは違い杉並公会堂での発表のため、1・2年生にとっては初めての経験であり、音響効果や照明など、貴重な体験になったことと思います。

講師の金澤智恵子様（作詞家、NKK全国音楽コンクール審査員）より、多くのお褒めの言葉とご助言をいただきましたので、ご紹介いたします。

「G組の歌声は素晴らしかった。特に男子の声がかっこいいと伸びやかであり、勇気をもらいました。1年生はどのクラスも声が出ていて、来年がとても楽しみです。2年生は各クラスの人数が少ないにも関わらず声が出ていて、曲のイメージを大切に歌っていました。3年はさすがです。曲の強弱、旋律、まとまりなど、全てにおいて、下級生の見本

となる合唱でした。指揮者や伴奏者も素晴らしく、阿佐ヶ谷中学校の合唱のレベルの高さを肌で感じることができ、充実した一日になりました。また、3年連続金賞の吹奏楽部の演奏も素晴らしかったです。」次年度に向けては、「合唱曲の詩をよく読み、理解し、イメージする。現在取り組んでいるイメージポスターはとても良かった。各クラスの合唱曲の紹介も、クラスの苦労した取組でなく、楽曲のイメージや味わいなどの曲想を音楽の特徴と結びつけた、素晴らしい紹介だった。これらのことを継続してほしい。発声の仕方やイメージを引き出すピアノの前奏の大切さも理解してほしい。」などのご助言を受けました。

生徒実行委員の話にもありましたが、「頑張ることはかっこいい」という阿佐ヶ谷中学校の伝統があります。私は、このように思っています。一人だけで何かに向けて、頑張ることはなかなか難しいことです。頑張っている姿を見て、誰かが応援しているのだと思います。その応援の力で、頑張っている人が、さらに力を発揮できるのだと考えています。今回のスローガンである「We'll Sing You ～すべての努力はみんなの全力～」通りの合唱祭を開催することができました。今後も様々な行事を通して、生徒の健全育成を図ってまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。